

# 学校給食用食材の放射性物質検査について

保健厚生課

## 1 目 的

学校給食の食材に対する保護者の不安があることから、学校給食実施主体である市町村等を支援するため、12月から県環境保全研究所において放射性物質検査を実施しているが、新たに専用の放射性物質検査機器を整備し、検査体制を充実・強化することで、安全の再確認及び保護者等の学校給食への理解や安心を図る。

## 2 放射性物質検査機器の整備

### (1) 導入機器

NaI (Tl) シンチレーションスペクトロメータ 4台  
テクノエーピー TN300B-50

### (2) 設置場所

各教育事務所（東信教育事務所、伊那合同庁舎、松本合同庁舎、長野合同庁舎）

## 3 実施方法

### (1) 検査対象食材

学校給食及び幼稚園・保育所給食等に使用する県外産の農産物、畜産物及び水産物等を基本とする。

### (2) 検体数

1ヶ月あたり480検体程度（6検体/台×4台×20日）

### (3) 検査食材の選定

検査を希望する市町村教育委員会等において使用量及び頻度等を勘案し、必要性の高い品目を選定する。

### (4) 検査食材の採取

検査を希望する市町村教育委員会等は、給食に使用する前日までに検査が実施できるよう検査食材を調達し、検査実施場所へ搬入又は送付する。

## 4 開始時期

平成24年4月上旬

## 5 結果の公表等

検査結果は、検査終了後速やかに市町村教育委員会等へ通知する。

また、食材選択の参考にできるよう県ホームページにおいて公表する。